



北陸地方退職者の会第1回地方総会模様(2015年7月19日)

JP労組北陸地方退職者の会は、去る6月14～15日開催の全国総会の協議・決定内容を受け、来る8月7日10時30分から金沢市・金沢都ホテルで開催する第2回地方総会に提案する「2016年度活動計画(案)」を発表します。

JP労組北陸退職者の会会報 北陸地方 2016年度活動計画(案)

第9号
2016年7月1日
発行責任者
坂本哲治
編集責任者
串田信行

1はじめに

(1) 昨年4月20日にJP労組退職者の会「北陸地方設立総会」、昨年7月19日には「第1回北陸地方総会」を開催し、これまでの2年間余り、親睦と交流を基本に連協・支部の組織基盤の確立に取り組んできました。これからは地方・連協・支部が連携し、活動の活性化と充実化に向けて取り組んでいくこととします。

(2) 昨年、集団的自衛権の行使に向けた安保法案そして労働法制の改悪が強行採決されました。安倍政権の暴走を阻止するためにも

この1年間は、JP労組組織内候補「なんば燐二」参議院議員の再選に向け懸命に取り組んできました。今後もこの活動を教訓として現退一体の政治活動を発展させていくこととします。

(3) 北陸の会員数は1017名であり、設立時から190名余り減少となっています。死亡退会者と希望退会者が新規加入会員を大きく上回ったことによるものであります。なお、退会希望者は年会

費徴収時期に集中し、現時点では終息状態にあります。(4) 希望退会者をなくし新規加入者を拡大するには、会員が「楽しい・頼りがいがある」と実感できる組織にしなくてはなりません。多くの会員が集まり楽しむ活動、また、会員をサポートする世話役活動を連携・支部が創意工夫して取り組んでいくことが必要となります。

2具体的な行動展開

(1) 会員相互の「親睦と交流」

北陸地方退職者の会は「親睦と交流」を基本として活動をしてきました。発足後、それぞれの連協・

支部においては創意工夫した活動が展開されています。今後も「会員が集まり楽しむ」活動の前進をめざしていくこととします。

(2) 会員への「世話役活動」

退職者の会の基本理念は「会員を生涯に亘りサポートする」ことだと言えます。高齢者がゆえに対応できないことや困っていることにに対して、相談に乗り・助け合う「世話役活動」の推進を現退一体でめぐしてこうひととしあわ。

(3) 会員拡大の取り組み

60歳定年や勧奨による退職者（管理者も含む）に加入を呼びかけていきます。

- 1 日時 2016年8月21日(日)
午後3時~
2 場所 富山県民会館「612」
富山市新総曲輪4-18

石川連協退職者の会
「第2回連協総会」

- 1 日時 2016年8月21日(日)
午前10時30分~
2 場所 金沢都ホテル
金沢市此花町6-10

福井連協退職者の会
「第2回連協総会」

- 1 日時 2016年8月20日(土)
午前10時30分～
2 場所 アオッサ「601A」
福井市手寄1-4-1

『会会報』の発行回数は年4回を基本とします。発行時期は北陸地方幹事会で決定するところです。会報には、各連協・支部や会員からの投稿を掲載するなど、親しみのある紙面づくりに努めます。

(8) 会報の発行

JP共済生協、株式会社郵愛の各種商品については、助け合いの制度として加入促進をはかりしていくことします。加入会員へは継続加入を機会あるごとに呼び掛けていくこととします。

一体の政治活動を発展させ
していく」とおもふ。

(5) 平和活動の取り組み 安保法案の強行採決など

(7) 各種共済加入拡大の取り組み

(7) 各種共済加入拡大の取り組み

(8) 会報の発行
『つよ労組北陸退職者の会会報』の発行回数は年4回を基本とします。発行時期は北陸地方幹事会で決定するとしています。会報には、各連協・支部や会員からの投稿を掲載すべくなど、親しみのある紙面づくりを努めます。

3
各種会議の
開催等について

日本は危険な方向に進んでいます。J.P労組や退職者連合の取り組んでいく平和

- (1) 2016年度の「第3回北陸地方総会」については、JP労組北陸地本第10回定期大会後に開催する

۱۳۷۰

を強化し、高齢者が抱える諸課題の前進に向け積極的に関わっていく」としま

(7) 各種共済加入拡大の取り組み

J.P.共済生協、株郵愛の各種商品については、助け

会員へは継続加入を機会あることに呼び掛けていくこととします。

は必要に応じ、連協および
支部に出向き、情報交換等、
迅速な意思疎通に努め活動
の活性化をはかりていいく
ことしあわ。

(8) 会報の発行

『JCP労組北陸退職者の会会報』の発行回数は年4回を基本とします。

会員決定するところである。
会報には、各連協・支部や
会員からの投稿を掲載する
など、親しみのある紙面で
つづり努めます。

(4) 北陸地方退職者の会の各級機関は、JPA本組のそれぞれの機関と意思疎通を積極的に行って連携を深めていきます。